

## 雪害事後対策と休眠期防除について

今冬は12月中旬からの断続的な大雪により雪害が多く発生している状況です。近年は、春先の気温の変動が大きいことから、急激に生育が進む場合も予想されます。雪害事後対策や剪定作業を計画的に進め、春作業に備えましょう。

### ■果樹の枝折れ被害と整枝剪定

整枝剪定作業は、雪害からの復旧や枝折れの程度を考慮して行いましょう。まず、裂けた枝は、できるだけ引き上げ、支柱等を設置し、ボルトやカスガイなどで固定します。固定した後は、必要に応じて枝を減らし、再び枝が折れないようにしましょう。

被害が大きく、復旧できない枝は切り落とし、切り口に癒合剤を塗布します。  
(トップジンMペースト、バッチレート※登録を確認し使用)

大枝を切った樹では、反発により樹勢が強くなりやすいので、剪定の際に通常より枝を多めに残して反発を少なくします。

また、倒伏した樹でも、引き起こすことで生産可能な場合が多いので、なるべく復旧して利用しましょう。

雪害の程度や樹勢、枝の性質に合わせた丁寧な整枝剪定を心がけ、今年の生産に繋げましょう。

### ■病虫害防除

休眠期防除は、様々な越冬病虫害に対して防除効果が高いため、生育状況に留意し必ず実施しましょう。

休眠期防除を行わないと、春の病虫害発生が多くなり、その後も多発する原因になるため、時期を失ないように実施しましょう。

特に、昨年発生が多かったモモの縮葉病、スモモのふくろみ病は、この時期を逃すと多発します。必ず発芽前に実施することが重要です。

※前年・平年の生育状況

	発芽期 ※山形県農業総合研究センター園芸農業研究所				
	サクランボ (佐藤錦)	モモ (川中島白桃)	スモモ (大石早生)	リンゴ (ふじ)	西洋ナシ (ラ・フランス)
前年	3/27	3/12	3/22	3/26	3/13
平年	3/30	3/23	4/1	4/3	3/28